

## いただいている名号

### 原文

帰 命 無 量 寿 如 来  
南 無 不 可 思 議 光

### 読み方

無量寿如来むりょうじゅによらいに帰命きみょうし、  
不可思議光ふかしぎこうに南無なむしたてまつる。

「帰命」と「南無」とは同じ意味で、ともに「敬い信じて順う」ということであります。

「無量寿如来」と「不可思議光」とは、いずれも「阿弥陀仏」のことであって、「無量寿如来」は阿弥陀仏の「慈悲」を、「不可思議光」は阿弥陀仏の「智慧ちえ」を、それぞれ表わしているということも申し述べました。

「帰命無量寿如来」という名号は、量り知れない私の「いのち」の源が、私自身の在り方を呼び覚まそうとしている、その「よびかけ」であることに  
対してのきずきです。

私の人生の道理を明らかにし、現に道理に包まれて生きている私自身を照らし出している。それらのことに気づかされ、思い知らされるとき、  
称える念仏は、苦悩する私を救おうとする「よびかけ」と「はたらき」に対する感謝となるはずなのだと解いています。

## 『無量寿』という言葉

真言宗のお寺に『無量寿』と書かれた額がある **浄土真宗の聖典**にも 沢山の無量寿の言葉が沢山出てくる。



サイトによると 無量とは量り知れない限りの無い事とあります。  
また寿とは命を表しており 『無量寿』とは限りない命という事になります。

**浄土真宗の聖典**の中に、この言葉がよく出てくるのは、**阿弥陀如来の別名が無量寿如来だからです。**

**如来とは** 悟りには全部で52の位があるとされその悟りを悟った仏を如来といいます。  
52番目の最後の悟りが大宇宙の真理のさとりでそれお悟った事を真如来現（しんによらいげん）」という。  
その宇宙の真理が表れ来たという意味で**如来**とされます。

**菩薩とは** 悟りの52番大宇宙の真理をめざして**仏の悟りをめざす51番目までの悟りの状態**を菩薩といいます。

2600年前にインドに生まれられた釈迦が悟りをひらき この大宇宙（十方）には様々な 数え切れないほどの仏  
がいてそれらの仏を「十方諸仏」といわれます。大日如来や薬師如来、奈良の大仏・ビルシャナ如来  
皆、十方諸仏の中の一仏です。釈迦も十方諸仏の中の一仏です。

そしてその釈迦の説かれには その十方諸仏には 本師本仏（ほんしほんぶつ）」師匠、先生がいて **阿弥陀仏**  
がそうだとといています。

## 胎藏界曼荼羅の無量寿如来の位置



### 特長

無量寿如来は蓮華座の上に座して弥陀定印を結び、飾りなどを付けないのが特徴です。深い瞑想に入って悟りに達する意思を表します。

### 梵名

amitayus (amitayus) アミターユス (アミターバ)

尽きることない光輝ある者、寿命ある者という意味です。

### 無量寿如来の印

印…弥陀定印



手には弥陀定印を結び、深い瞑想に入って悟りに達する決意を表します。

### 真言

ナウマク サンマンダ ボダナン サン サク ソワカ

無量寿如来は、尽きることの無い光明が開花した菩提心から出てきて西方の世界を照らすという仏です。